

城跡巡りポイント解説

1 時鐘 (綱門跡東側)

盛岡城下に時を知らせていた鐘。延宝7年(1679)、盛岡城下の三戸町(現在の中央通3丁目付近)に設置され、明治維新後に現在地に移転。ここから北西に見える鳥居の場所には盛岡城の大手門である綱門があった。



3 車門跡 (二ノ丸正門)

正式な登城ルートは、最北の綱門から南に向かって鳩門、次いで瓦門、そして車門になる。車門を通過した先にある二ノ丸には、盛岡藩の政治と儀礼の中心として、公的な行事などが行われた中ノ丸御殿が存在していた。



5 三階櫓 (天守) 台

城内で最も高い位置にあった三階櫓の土台にあたる石垣が残る。天保13年(1842)以降は天守と呼ばれるようになり、名実ともに城の象徴的な建物となる。普段は蔵として使われ、人の出入りの少ない場所であった。



7 彦蔵

盛岡城にかつて存在した建物のうち、現存している唯一のもの。本来の設置場所は、現在地から西に100m地点であったが、市道拡幅に伴い移設。ただし現在地にも米内蔵と呼ばれる別の蔵が建てられていた。



2 烏帽子岩 (三ノ丸内)

烏帽子の形に似た巨石。江戸時代には城内の三ノ丸から見る角度が正面で、烏帽子岩周辺には、現在の盛岡八幡宮の本社にあたる八幡社のほか、雷神・大日・春日なども祀られており、城内屈指の神聖な場所であった。



4 南部中尉騎馬像台座 (本丸御殿跡)

本丸御殿のあった場所には、南部中尉騎馬像の台座のみが残る。日露戦争で戦死した南部利祥(42代当主)を顕彰するため明治41年(1908)に建立されたが、銅像本体は戦時中に軍需資材として供出されたため現存しない。



6 馬場跡 (淡路丸内)

城内の重要な馬場として、江戸時代には馬に関する儀式や、贈答用馬の上覧などで利用されていたが、現在はサクラの名所として知られる。馬場のあった淡路丸(腰曲輪)には、宝蔵やいくつかの社堂が存在していた。



8 石丁場跡

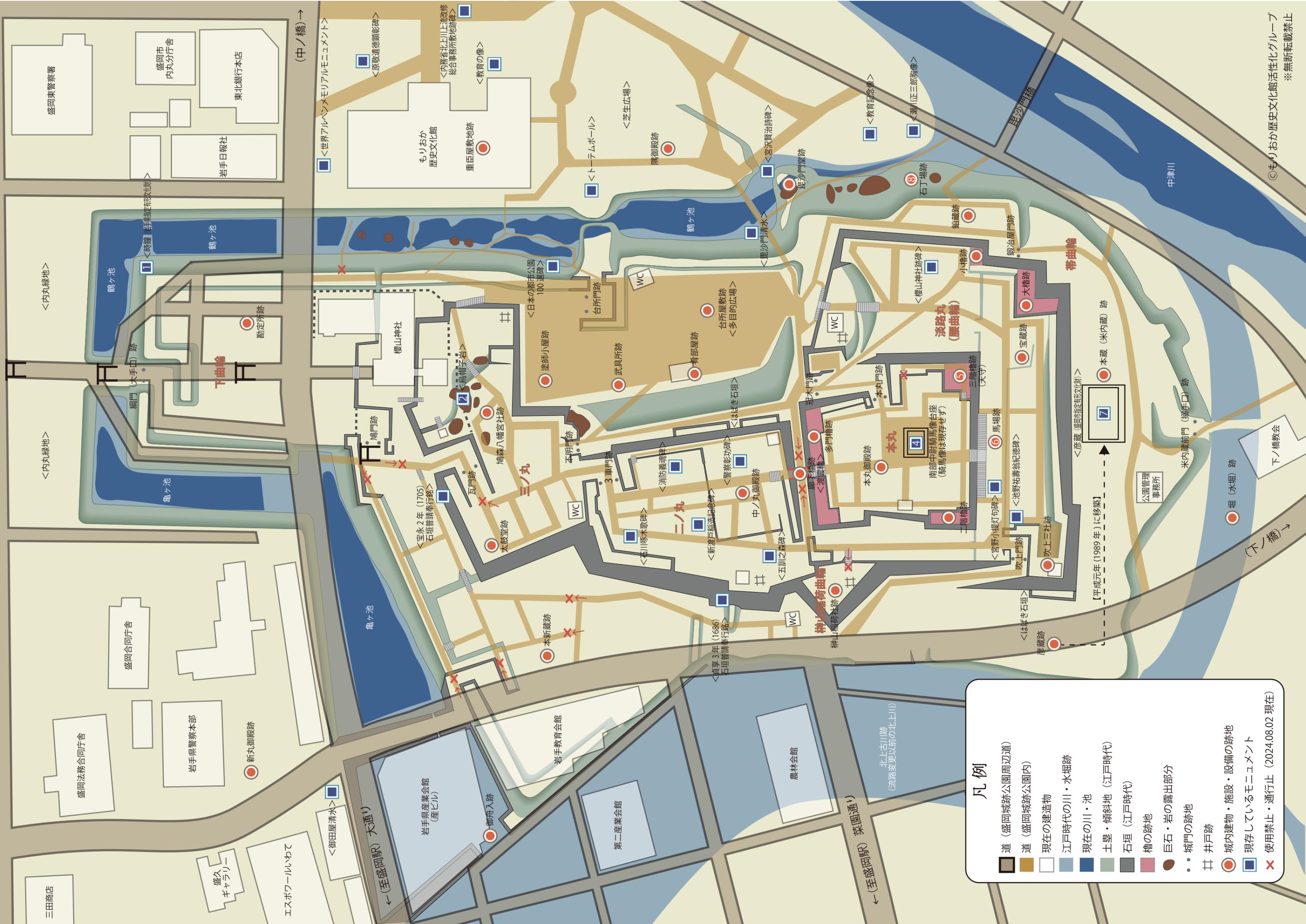
盛岡城周辺には石垣の材料となる花崗岩が多く分布しており、それらを利用することで、総石垣を志向した城郭が可能となった。現在でも大きな花崗岩が各所に残り、岩を割る際に付けられる矢穴を確認できる石もある。



盛岡城跡ガイドマップ

盛岡城略年表

| | |
|------------------|---|
| 1590年代(文禄~慶長年間) | この頃、豊臣秀吉の許可を受け盛岡城の築城が始まったとされる |
| 1633(寛永10年) | 南部重直が盛岡城に入城し、盛岡藩主南部家の正式な居城となる |
| 1636(寛永13年) | 本丸が炎上し殿舎や櫓などが焼失(一説に落雷のためともいわれる) |
| 1641(寛永18年) | 新丸御殿が完成(本丸御殿に代わり一時的に盛岡藩の政庁となる) |
| 1668(寛文8年) | 本丸御殿が再建され、盛岡藩の政庁機能も戻される |
| 1673(寛文13年/延宝元年) | 本丸三階櫓や二階櫓等の再建について江戸幕府から許可を受ける |
| 1686(貞享3年) | 二ノ丸西側新規普請中の石垣の石に普請奉行名が刻名される |
| 1704(元禄17年/宝永元年) | 大地震で本丸の壁や石垣が崩壊するも、その年のうちに修復開始 |
| 1705(宝永2年) | 修復が完了した三ノ丸北側の石垣の石に普請奉行名が刻名される |
| 1708(宝永5年) | 大風により城内各所が破損し、本丸三階櫓の鯨も落下し破損 |
| 1733(享保18年) | 寛文年間以降停止していた三ノ丸の太鼓堂を再建 |
| 1749(寛延2年) | 淡路丸(腰曲輪)東側に南部信直を祀る淡路丸大明神を建立 |
| 1766(明和3年) | 内曲輪正門である綱門、および下ノ橋門が改築される |
| 1829(文政12年) | 吹上門内に神明・八幡・稻荷の三社を勧請(吹上三社)この頃、本丸大奥に新御殿、内丸に広小路御殿、菜園に曲水茶屋なども造営 |
| 1842(天保13年) | 本丸の「御三階」を「御天守」と称するよう通達ができる |
| 1851(嘉永4年) | 本丸御殿の不要部分を解体し始める |
| 1854(嘉永7年/安政元年) | 聖長楼を含む本丸大奥西側の新御殿を取り壊す |
| 1868(慶応4年/明治元年) | 戊辰戦争で盛岡藩降伏。盛岡城は新政府軍が接收 |
| 1874(明治7年) | 盛岡城内の建物が取り壊される |
| 1906(明治39年) | 盛岡城跡が岩手公園として開園 |
| 1937(昭和12年) | 盛岡城跡が国の史跡に指定される(文部省告示第212号) |
| 2006(平成18年) | 岩手公園開園100周年(愛称「盛岡城跡公園」決定) |



凡例

- 道 (盛岡城跡公園周辺道)
- 道 (盛岡城跡公園内)
- 現在の建造物
- 江戸時代の川・水堀跡
- 現在の川・池
- 土塁・傾斜地 (江戸時代)
- 石垣 (江戸時代)
- 櫓の跡地
- 巨石・岩の露出部分
- 城門の跡地
- 井戸跡
- 城内建物・施設・設備の跡地
- 現存しているモニュメント
- 使用禁止・通行止 (2024.08.02 現在)
- X